

CS だより

第3号 令和4年12月

浜松市立積志中学校
CS コーディネーター
岡本 知之
CS ディレクター
北寒寺 知子

【第3回学校運営協議会が開催されました】

11月21日に第3回学校運営協議会が開催されました。今回の協議会には、委員以外にも、地域住民、PTA役員、教職員、生徒（生徒会役員、学年代表）といったさまざまな立場の方々に出席してもらい、「積志中の未来を考える会」を開催しました。そこでは、先日、生徒と保護者を対象に行ったコミュニティスクールに関するアンケートの結果を基に、積志中の課題や来年度以降にどのような具体的取組ができるかなどについて話し合いました。

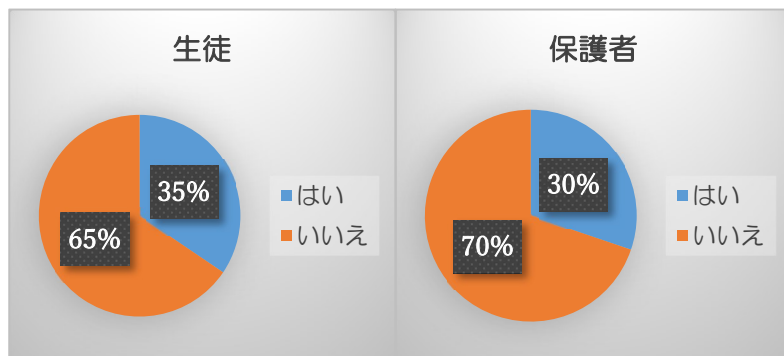


【積志中の未来を考える会の紹介】

アンケートの結果と「積志中の未来を考える会」に出席された方々より出された意見、感想を紹介します。

① 積志中でコミュニティスクールがスタートしたのを知っていますか？

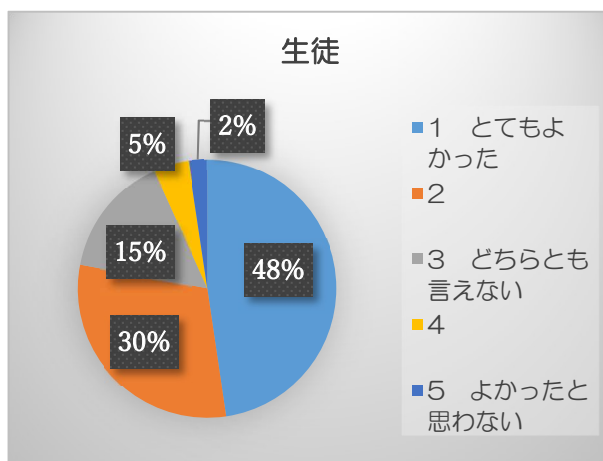
- 今後、いろいろな活動をしていくことで、3年後にはコミュニティスクールの認知度が100%になることを協議会の目標として設定したい。
- ホームページやCSだより等を通して、具体的な活動の様子を発信していきたい。



② 積志中に入学してよかったと感じていますか？

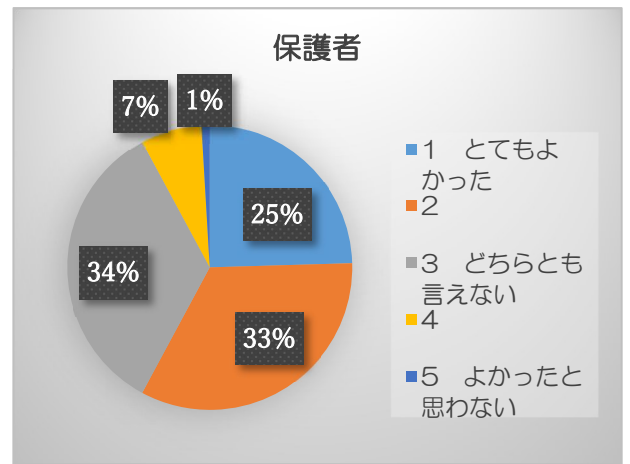
<生徒>

- 生徒会の活動に対して多くの生徒が協力してくれる雰囲気がある。校内で生徒同士の挨拶の声もよく聞こえるので、生徒は楽しんで学校生活を送っていると思う。
- 勉強と部活動を両立しながら、充実した学校生活を送ることができているので入学して良かった。
- 勉強を苦手としている生徒へのサポートを、コミュニティスクールの取組として考えていけないだろうか。



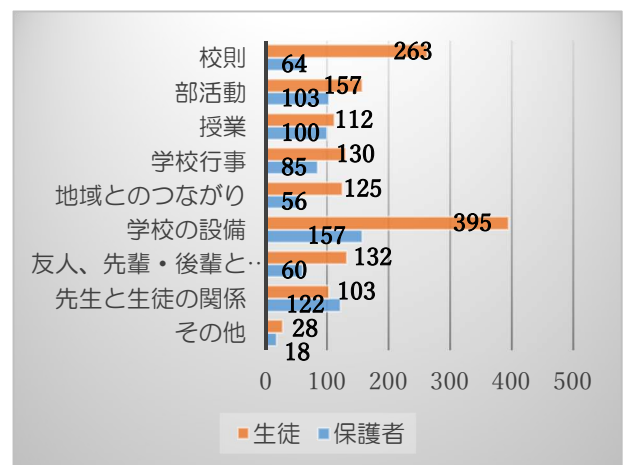
＜保護者＞

- 先生方が日々の子どもの様子をよく見てくれていることをありがたく感じている。
- 部活動の顧問の先生が、生徒のために粘り強く指導してくれているのを、子どもを通じて感じている。授業中の生徒への関わり方の面でも、先生方は生徒の自尊心を大切にしてくれていると思う。学校の設備は古いと思うので、少しずつ改善していくと良いと思う。



③ 今後、積志中がさらによくなっていくために、どのような点を改善していくとよいと思いますか？

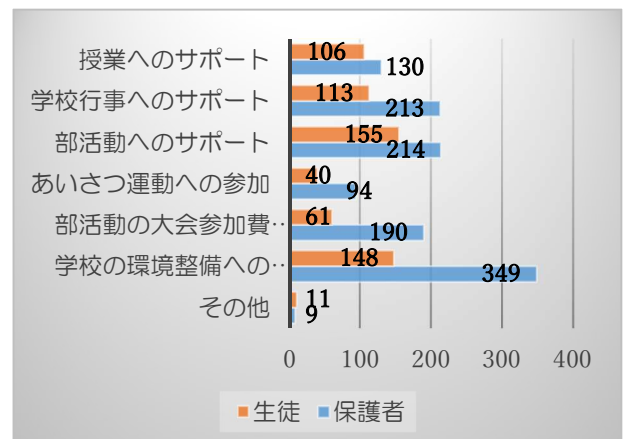
- 中学生と地域がつながりをもてるようなアイデアはないか？
→ 地域の方が授業の中で積志地区の歴史などを話す機会を設けてはどうか。
- 積志中における教師と生徒の関わりはどのような感じなのか？
→ 部活動指導や生徒会活動などのいろいろな業務があることで、自分のクラスの生徒との関わりが少なくなっている現状があり、申し訳なく感じる。



→ 生徒の立場からすると、先生と話す機会がなかなか持てない。学級担任や部活動顧問など、関わりのある先生に対しては親しみやすさ、話しかけやすさを感じている。

④ 生徒・保護者の立場で、地域の方々に期待することや要望などを教えてください。

- 体育大会のソーラン節で使う法被について、浜松まつりに参加していない家庭も増えてきており、各家庭での法被の確保が難しく、数が集まらない現状があると聞いた。コミュニティスクールの取組として地域に働きかけをし、使用していない法被があれば、学校へ寄付をしてもらえるように呼び掛けることはできるのではないか。
- コミュニティスクールの取組や地域の力で改善できそうなことはないか？



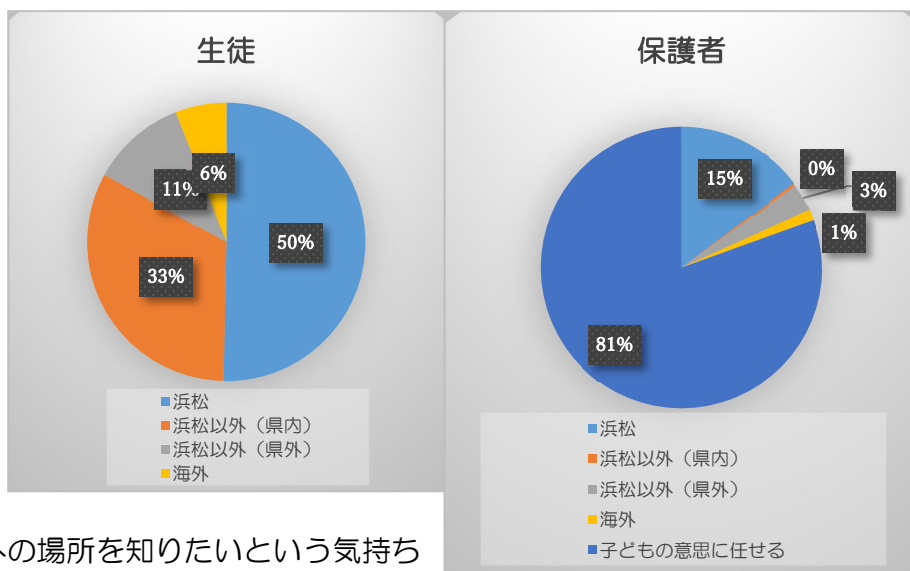
→ 学校の施設設備を変えることは自分たちでは難しい。

い。生徒会の取組を地域に発信し、協力を呼び掛けて、地域の力を活用してほしい。

→ 学校の先生たちにももう少しゆとりがあれば、改善できることもあると思う。放課後、地域の方が学校に来て、中学生への学習支援をするなど、コミュニティスクールの取組に任せる部分は、完全に任せてしまった方が、先生が業務に当たれる時間も生まれるのではないか。

⑤ 将来、浜松で生活していきたい（生活してほしい）と考えていますか？

- 約50%の子供たちが浜松以外で生活したいと回答している。子供たちが浜松以外の場所に行って活躍したい、生活したいと考えるのはたくましい意見だと思うが、逆に言うと浜松を去ってしまうことになるので、いろいろな側面を考えると大きな損失になると思う。
- 自分は、浜松の外で生活したことがないから、浜松以外の場所を知りたいという気持ちがある。その結果、最終的に浜松で生活することを選択する可能性は十分にある。他の生徒も、同じような考えを持っているのではないか。



⑥ 積志中のコミュニティスクールに期待すること

〈生徒〉	〈保護者〉
<ul style="list-style-type: none"> • 学校と地域が関わる機会が増えるとよい。 • 地域のプロフェッショナルな方に授業をしてもらいたい。 • 地域の人がやっている仕事や農業などを体験してみたい。 • 地域のボランティア活動など、中学生にできることをたくさんお知らせしてほしい。 • 部活動で顧問の先生以外の方の指導を受けてみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> • 新しいことをどんどん取り入れてほしい。 • 地域と生徒の交流の場をつくってほしい。 • 子どもが親、先生以外の大人と協働する活動ができるとよい。 • 部活動の日数が減らないように地域の方で支援してほしい。 • 学区内の高校、大学との連携もできるといい。

- それぞれの立場の人たちが単独で何かをやろうすると難しいが、コミュニティスクール、学校、PTA、地域が連携して行うとできるものがある。
- 出された意見の中には、今後、コミュニティスクールとして取り組んでいけることのヒントが多くあるので、精査し、優先順位をつけながら、来年度から具体的に取り組んでいきたい。そのためにも、今年度以内に来年度取り組むことの実体案を作成し、人材などの確保をしていきたい。

出席者の方々からは様々な意見が出され、どのような学校を目指していきたいのかについて、活発な意見交換ができました。今後、どのような取組をしていくのかについては学校運営協議会の中で議論し、みなさんにお知らせします。